

1900年（明治33年）、作造は東京帝国大学（いまの東京大学）に入学しました。

作造は大学で小野塚喜平次という先生から政治学を学びます。また大学ちかくの本郷教会で、キリスト教の仲間と『新人』という雑誌をつくったり、政治について考えたりしました。このように、キリスト教と政治学が作造の人生のテーマになりました。



雑誌『新人』にあつまった人々、1906年（明治39年）1月本郷教会でいっしょに雑誌をつくった仲間たちの集合写真。作造はまんなかの列の左から3人目。作造のとなり、まんなかの列の左から2人目は、本郷教会の牧師・海老名弾正。

